

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成31年4月10日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 カメヤマジョウセキホゾンカイ
亀山城跡保存会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名	浮田ふるさと再発見事業
事業実施区域 (小学校区)	亀山城跡 (浮田学区)
①事業実施内容	1. 講演会の開催 (添付の写真、チラシ、資料を参照) 県教育庁文化財課の[]を講師に招き「直家、秀家が駆け抜けた時代」の演題で開催した。終了後、希望者に亀山城跡の案内を行った。 2. 写真展の開催 うきだ振興まつりで、宇喜多氏や亀山城に関連する写真の展示を行い、見学者に歴史クイズも実施。 3. 城跡清掃・管理 (写真添付) 学区の町内会、上道中学校及び浮田小学校のボランティア活動の一環として清掃活動を行った。 4. 亀山城跡保存会会員の募集 「亀山城跡しおり」をもとに、学区内外を問わずPRを行い、募集した。 5. 浮田子どもクラブの活動の活性化 (写真添付) ・ 亀山城跡の樹木伐採による材木を使用しての木工教室の開催。シイタケ栽培。 ・ 秀家・豪姫の顔出しパネルの制作。 ・ うきだ振興まつりでの亀山城歴史クイズの立案と司会進行 6. 亀山城跡の樹木成長にともなう伐採作業 (写真添付) ・ 2年目となる保存会メンバーによる伐採作業を実施。 ・ 次年度以降も継続して実施する。 ・ 保存会浮田子どもクラブの木工教室やシイタケ栽培の材料として使用。 7. 亀山城プレーパークの実施 ・ 幼い子どもをもつ若い世代の家族に亀山城跡を知ってもらうために、はじめてプレーパークを開催した。

②
解決
を
目的
とした
課題

戦国の雄、岡山開府の祖と言われる宇喜多直家・秀家親子、その直家が戦国大名に名乗りを上げた居城であり、秀家が誕生した亀山城ですが、地域の新しい住民や若い世代にはその歴史的価値は十分知られてはおらず、とりわけ歴史的資源としての愛着も薄れています。

多くの学区民に郷土の偉大な先人と亀山城という郷土の歴史遺産を正しく理解し関心を持ってもらい、多くの方々に広めていく必要があります。

目的：宇喜多直家飛躍の地・秀家生誕の地である亀山城跡をこの地の歴史遺産として、また岡山市指定文化財（史跡）として、継続的に保存し後世に引き継ぎ、地域おこしの一翼を担うことを目的とする。多くの方々にこの歴史遺産の価値を理解していただく。

1. 講演会開催について

- ・講師 演題「直家、秀家が駆け抜けた時代」
参加者は約170人で会場はほぼ満席の盛況であった。
広く事前にPRしたことによって学区外からの参加者が多く亀山城跡ならびに保存会の存在を知ってもらえた。
講演会終了後の亀山城跡探索も15人ほど参加され、関心の高さが感じられた。

③
目的・
目標の
達成状況

2. 写真展の開催

うきだ振興まつりでの宇喜多氏および亀山城に関する写真展は恒例となっているが、見学者は子どもたちも多く、歴史クイズとあいまって次世代に引き継ぐ歴史の学習になっている。

3. 城跡清掃・管理

- ・中学校のボランティア活動として10名弱の参加者があった。
浮田学区の各町内会からの参加もあり、また終了後、地元歴史家の講話もあって、歴史の学習になっている。

4. 会員募集

- ・9名の会員増があった。

5. 浮田子どもクラブの活動

- ・①に書いたように、前年度から引き続き、子どもクラブの活性化が続き、よき伝統になりつつある。

6. 亀山城跡の樹木伐採作業

- ・昨年度に引き続き、保存会メンバーによる伐採作業を実施した。
- ・次年度以降も継続して作業実施予定。

7. 亀山城プレーパークの実施

- ・NPO法人岡山市子どもセンターのご協力によって、初めてのプレーパークを成功裏に終えることが出来た。子どもはもちろん、若い親世代にも好評だった。

④企画等の工夫と情報公開	1. 講演会の開催について ・各町内会長を主としてポスターの掲示、チラシ等により広報を行った。 ・小学校、中学校、農協、公民館、郵便局などにポスターを掲示し、チラシを持ち帰れるようにした。 ・学区外の保存会会員には、案内状とチラシを送付した。 ・山陽新聞の講演会開催の案内頁に掲載してもらった。 これによって、遠方からの参加者も増え、亀山城跡の存在を広く知ってもらうことができた。 ・講演会終了後の亀山城跡の探索の案内も行った。 2. 写真展の開催 ・展示の写真の選択やパネルの配置の工夫。写真を見ての子ども向けの歴史クイズの工夫。 3. 城跡清掃管理 ・学区の町内会長に呼びかけ多くの参加者を募った。 ・清掃後、地元歴史家の講話は歴史の学習になっている。 ・学区町内会の電子掲示板でも紹介。 4. 会員募集 ・しおりの増刷（昨年度）によりやりやすくなった。 5. 浮田子どもクラブ ・従来の清掃活動だけでなく、子どもたちのアイデアを募って活動を増やしていった。 子どもクラブの中に子どもが考えた役員ができて、彼らとの話会いを行うことによってさまざまなアイデアが生まれてきて、それを実行することができた。 6. 亀山城跡の樹木伐採作業 ・保存会メンバーがチェーンソーを持ち寄り、今年度計画分の作業を実施することができた。 ・区役所職員のご協力もあり感謝です。
⑤次年度計画	1. 歴史講演会の開催 好評につき継続的に開催する。ついては、テーマの設定と講師の選定を考えていく。 2. 城跡の清掃・管理 ボランティアの継続や学区全体への呼びかけをしていく。 3. 浮田子どもクラブの活動をより充実させていく。 会員証授与式の内容の豊富化 木工教室にプラスしての活動

	4. 亀山城跡を訪れる人たちの記念記録ノートなどの設置 5. 亀山城跡の樹木伐採作業3年目。 6. 亀山城プレーパークは2年目として継続実施したい。 プレーパーク運動そのものの意義はもちろんのことだが、子どもを持つ若い親世代が亀山城跡という場所を知る機会にもなる。 7. 従来の老朽化した案内標識及び看板の改修作業は終了した。 しかし、市教委が新しく作製した説明板の説明シートが剥がれてきたので、対策を依頼中。
⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	1. 役員の交代があつて2年目、新しいメンバーの協力体制ができあがってきた。 2. 浮田子どもクラブの活動が子どもたちの主体性で出来るようになった。 3. 歴史講演会でのアンケート回収で、参加者の分析ができるようになった。 4. 樹木伐採も保存会メンバーの協力でなんとか2回目の作業ができた。 5. 城跡訪問者への配慮の何かを考えていきたい。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 下記は、区づくり推進事業審査会で委員から出た意見・コメントです。 ○浮田ふるさと再発見事業 ・素晴らしい区づくり事業。今後も継続発展される事を望む。 ・大変分かりやすいテーマで地域を巻き込み、協働してもらえと思う。 ・事業として5年目に入り、課題の認識もできていると思う。今年度のいくつかの「見直し拡充点」により、世代をこえて、地域がつながっていくことを期待している。 ・大変素晴らしい企画だと思う。亀山城や地域の郷土史のことを、もっともっと子供たちに教えてあげて欲しい。 ・亀山城を守る地域活動として必要な事業である。 右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。 (理由：)	助言等の内容について、改善ができましたか。 Ⅰ できた ② おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった
--	---

⑧事業実施経過

年 月 日	内 容
30年9月27日	NPO岡山市子どもセンタースタッフ亀山城跡を視察
30年10月5日	清掃ボランティアについて中学校との打ち合わせ
30年10月12日	運営委員会開催（10月から3月までの活動計画）
30年11月12日	顔出しパネル白地塗装済を学校に運搬
30年11月15日	亀山城跡樹木伐採作業
30年11月22日	浮田小学校6年（子どもクラブ）城跡清掃作業と歴史講話
30年12月10日	浮田子どもクラブ木工教室
30年12月15日	亀山城プレーパーク実施
30年12月16日	上道中学校ボランティア清掃、町内会、保存会も参加
30年12月19日	講演会チラシ・ポスター仕分けと郵送のための封筒づめ作業
30年12月20日	講演会ポスター・チラシ設置依頼
31年2月1日	運営委員会、講演会準備、配布資料製本
31年2月2日	亀山城跡保存会主催歴史講演会
31年3月11日	浮田子どもクラブ椎茸菌駒打ち体験
31年3月19日	秀家・豪姫顔出しパネル完成（浮田子どもクラブ）

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	154,000	154,000	
実施団体負担金	49,200	58,461	亀山城跡保存会
浮田学区連合町内会助成金	104,800	105,200	
寄付、他収入		17,000	
計	308,000	334,661	

◆ 支 出

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	133,647	以下別資料参照
②食糧費	48,000	24,303 (補正) (-31,013)	
③印刷製本費	75,000	73,000	
④燃料費	10,000	3,717	
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	12,000	14,414 (補正) (-14,496)	
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	8,000	34,188	
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	30,000	30,000	
⑭保険料	10,000	9,600	
⑮旅費	15,000	5,000	
計	308,000	329,869 (補正) (334,661)	